

睦して妻子城を明けしは其時男ふと氣ふなり
二本松城内室子息告して今津へ落部くそれより
以家處しう城と改修して今津へ馬を入るゝと其由
ぞえ今津より佐竹へ加勢と請ふ今津佐竹あふをせて
五部餘騎以集へ對陣とてすゑ以家惡津の城へ
四千五百より部け惡津の城と申へ山城とて西より成
まゝして大隈川流して岩よりして岩石なり此城山のふ
り廻りて十二丁測りし如くに黄色の蛇ありと申す
しるし以本申より辰己まを城二重なりこの丸よりを

手地より自然な登り丸は良の方より付き前の如く測りこの
丸を城より五丁室子の隅より隔る深度大寺寺橋北
城内良より申す九丁より五丁をこへ成まをて七丁今津城
へ澤島家公繩張りて築られしと申はる佐竹今津の
習い大隈と西に數千刻の小丘と樹矮けて篝火と万燈の
如くは燈は常燃しくすれ其後ふありておれ御ふといへ
る佐竹今津敗軍して佐竹を國幸陸へ川より三浦
より戦居城今津へ引く以家惡津よりあふべは惡津
の城名城なり故敵の馬を奪ふなり故なりとて大隈川と